



「笑顔とつながり」

永田台

サステイナブルスクール

No.561 9月号
横浜市立永田台小学校
TEL (714) 4277
令和4年 9月 1日



進んであいさつ
笑顔あふれる
住みよいまちに

夏休みの思い出

校長 松本 久美子

夏休みが明け、本日より学校が始まりました。この夏は猛烈な暑さが続いたり、バケツをひっくり返したような土砂降りの雨が降ったりと気候に振り回された毎日だったように感じます。今年は久々に外出制限のない夏休みでしたが、世の中は新型コロナ流行の第7波が続いています。予定していた地域行事なども中止になることもありました。まだまだ気が抜けない状況です。

この夏休み、学校ではいろいろなことを行いました。体育館の補修工事が着々と進みました。教職員総出で、PTA 会議室、5年1組、パソコンルームをそれぞれ新しい場所に移動させました。調理員さんは給食室を総点検し清潔に磨き上げました。用務員さんは床にワックスをかけてピカピカにしたり、教室移動で出たたくさんのごみを片付けたりしました。先生も職員も、夏休みにはいろいろな研修を行いました。講師を招いたり、ほかの学校に行ったりして、新しい知識や技能を学び、身につけました。それぞれの活動は子どもたちを迎え入れるための準備でした。これからの生活にきっと生かされると思います。

先日、セミたちの大合唱をバックに空にわきあがる入道雲を見ながら、とても懐かしい気持ちになりました。なぜだろうとしばらく考えて「この光景は小学生の時、学校に向かう坂道を歩いているときに見た状況とそっくりだった。」と思い至りました。「だから懐かしい感じがしたのだな。」と納得しました。一つ一つは当たり前、入道雲、ゼミの鳴き声、照り付ける太陽、熱い空気が重なって小学生時代に見たあの光景を思い出し、ついでに懐かしいという感情も引き出したのだと思います。夏休みに体験したラジオ体操、プール遊び、おやつのカルピス、盆踊り、お祭り…思い出が次々に連なるようによみがえり、さらに懐かしい気持ちになりました。

子どもたちの今年の夏には、大人になったときまで記憶されている1シーンがあったでしょうか？新型コロナ再拡大のせいで特別な思い出は少ないでしょうが、もしかしたら気付かないうちに記憶の深いところに刻まれた夏の情景があったかもしれません。



今日から子どもたちが登校し、学校に活気が戻ってきました。うれしいことです。久々に会う友達と楽しそうに過ごす子どもたちの姿を見て「本来の学校に戻ってきたな」と実感しています。これからも教育活動へのご助言、ご協力をよろしくお願いいたします。